

1 教育目標

碧南市立新川中学校

(1) 本校の教育目標

校訓「真理」(本当によいもの、正しいもの、真実のもの)を求めることを教育活動の基本理念として、次に掲げる生徒の育成に努める。

- ① 人間性豊かで、自らを律することのできる生徒
- ② 笑顔、あいさつ、思いやりのある生徒
- ③ 人の話をよく聴き、自ら学び、自ら考える生徒
- ④ たくましい気力と体力をもつ生徒

(2) 経営方針

① 生徒にとっての学校の在り方

- ・個に応じた確かな学びが保証され、自らを高めることができる。
- ・一人一人が認められ、励まされ、存在感を感じることができる。
- ・行事や体験活動を通して心身を磨き、社会の担い手としての素地を伸ばすことができる。
- ・仲間と一緒に学び、活動することで、共に過ごすことを楽しむことができる。

② 教職員としての心構え

- ・礼節を重んじ、率先垂範に努め、技術革新に適応した教職員としての技能向上を図る。
- ・生徒の声を聴き、生徒の活動を生かし、生徒が積極的に活動できるように支援する。
- ・生徒の安全安心を念頭に、校内環境や教育機器等の整理整頓に努める。
- ・社会の変化に対応し、保護者や地域から信頼される経営を行う。

(3) 本年度の重点努力目標

今まで積み上げられてきたことを継承し、生徒にとって居場所がある学校、進んで活動できる学校、きれいで落ち着いた学校、保護者・地域にとって安心して任せられる学校、教職員にとって勤めることが楽しくなる学校となるよう努める。そのための具体的な重点努力目標を以下のとおりとする。

① よい学級をつくる

- ア 生徒同士が好ましい人間関係を構築できるような学級経営方針を明示する。
- イ 一人一人が役割をもち、互いに協力し合って遂行することで自己有用感が得られるようにする。
- ウ 学年・学級活動の成果や生徒個人の思いが伝わるような教室環境を工夫する。

② よい授業をつくる

- ア 何を学ぶのか学習のねらいを明確にし、生徒が意欲的に参加できる授業をつくる。
- イ 学力向上をめざして教材研究や指導法の改善を図るとともに、学習評価の妥当性、信頼性を高める工夫をする。
- ウ ICT機器の有効活用や外部講師の招聘等により、時代に即した授業展開を工夫する。
- エ 道徳的な課題を自分自身の問題と捉え、「考える道徳」「議論する道徳」となるよう授業展開を工夫する。人間としての生き方を深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。
- オ 外国籍生徒の将来を見据えて、個に能力に応じた日本語指導を行う。

③ 生徒のよい習慣をつくる

- ア 目前の問題に対応する課題解決的な指導だけでなく、生徒の発達を支え、成長を促す積極的な生徒指導を充実させる。
- イ 安全に生活するため、校内の約束事への理解を促し、思いやりのある行動がとれるようにする。
- ウ 自分の役割を諦めずきちんと果たし、将来、社会に出て通用する実践力を身につける。
- エ 当番活動、清掃活動、ボランティア活動、部活動等、生徒の積極的な活動を賞賛する。

④ 組織として動く

- ア 生徒の生命の安全を第一に考え、細心の注意を払って教育活動を実践する。
- イ 疾病に関して、最新情報や国・県の指示を注視し、適切な予防対策を実施する。
- ウ 組織的な学校運営、事務作業の省力化、各会議の実施方法の改善等を図り、ワークライフバランスの充実を推進する。
- エ 報告・連絡・相談・記録(ホウ・レン・ソウのキ)を迅速にし、全職員の共通理解を図る。
- オ 電話や来客には、心をこめて応対し、社会人としてのマナーを身につける。
- カ 心身ともに健康で、きれいな言葉遣いをするとともに、いつも笑顔で心がける。
- キ 困ったことは、一人で抱え込まないで、助け合って解決する。
- ク 地域や諸機関の方々との連携を大切にする。